

# 緑化センター みにがいど

ヘルパーさんもいる？

## エナガ

エナガの番(つがい)は春早くに群から離れて雌雄で巣づくりを始めます。コケや獣毛などをクモの糸などで絡め、足と胸を使ってアジウリ型に積み上げて巣を作ります。雌雄は絶えず鳴き交わし、お互いの位置を確認しているようです。巣は中低木の枝分かれした所に乗せることが多く、ちょっと見ただけでは巣だとは思えません。卵の数は多く、7個から11個位で、ヒナへの給餌は大変です。そのためかヘルパーがいて給餌を手伝います。ヘルパーは繁殖に失敗した固体とか昨年生れの仔だろうと言われていきます。巣立ったヒナはくつつくように枝に並んで親鳥を待っていますが、親が近づくとヒナの上にヒナが重なるようにして餌をもらっています。



No.7

## エナガ エナガ科

日本の野鳥の中で最も小さい方に入り、体の大きさはスズメよりずっと小さく、尾羽が長いのが特徴。

雑木林の梢に近いあたりを活発に移動しながら小さな昆虫の卵や幼虫を食べる。

常に仲間との連絡をとるために「ジュリリー」「ジュルル」「シーシー」など数種類の鳴き方をする。群が大きくなる秋から冬にかけては賑やかに聞こえる。

冬にはコゲラ、シジュウカラ、ヤマガラなど他の小鳥と一緒に行動することによって、タカなどの外敵からの攻撃を警戒している。

緑化センターで出会う機会の最も多い小鳥で、人を余り恐れないので、遠くから聞こえる声が近づいてくるのを待っていると、枝の先にぶら下がったりするなどの面白い動作を見せてくれる。

文と写真 吉見良一氏

コーヒーで一息入れませんか  
緑化センター レストハウス